

第4回 秋田ものづくりオープンカレッジ2019

開催内容 学生・教職員向けに、県内企業のPR展示と医工連携に関するセミナーを秋田県立大学ならびに秋田大学で開催



第3回「IoT先進技術等導入促進セミナー(実践編)」

開催内容 IoTやAI等の先進技術の活用による県内産業の振興を促すため最新動向や導入方法を学べるセミナーを開催



“ものづくり”の技術を学生へPR

県や各大学は「秋田ものづくりオープンカレッジ2019」を秋田県立大学(10月18日)と秋田大学(11月6日)の2会場で開催した。第4回目となる当イベントは、学生を対象に県内の航空機・自動車関連産業、医療福祉機器関連産業、情報関連産業に関わる企業のものづくりをPRすることで学生と企業の交流を深め、将来の就職にかかる選択肢や、企業の活性化を図ることを目的としており、当センターは第1回から共催として企画・運営に携わっている。



大学構内に設けられた特設会場では、全38社の出展企業が“ものづくり”を身近に感じてもらうと展示に工夫を凝らし、自社製品を用意。各社ともいかに学生に興味を持ってもらうかに重点を置き、自社の技術を活かした体験型の展示や分かりやすい映像を用いたPRが目立った。また、同会場ではミニ技術セミナーも実施され、学生のみならず参加企業も耳を傾けるなど、最新技術の情報交換の場としても活用された。



講義の合間などの時間を活用して展示ブースに足を運んだ学生は、秋田県立大学で95名、秋田大学で306名となったほか、県内の工業課程にある高校生も212名が見学を訪れるなど、普段なかなか繋がりを持つ機会のない双方にとって、秋田の今後の“ものづくり”を考える貴重な場となった。



参加者の声

当社では、各種金型製作、粉末成型プレス機設計製造を主な事業としており、チャレンジ精神と知的好奇心をもってものづくりに取り組むことを大切にしています。福利厚生にも力を入れており、200名を超える従業員の有休取得率は年間平均70%以上、育休や介護休暇制度なども充実しているのが特

徴です。平均年齢は40代ですが、より若い人材の確保に向けて地元の高校生はもちろん、専門的分野で学んだ大学生の入社も歓迎していますので、このようなイベントには積極的に参加しています。今回のイベントをきっかけにまた新しい人材に出会えれば嬉しいですね。



小林工業株式会社
総務部 総務グループ
木村 洋 さん

IoT化で業務の効率化を図る

県では、IoTやAI等の先進技術の活用による県内産業の振興やさまざまな地域課題解決に向け、先進技術の最新動向や導入方法などに関するセミナーを定期的に開催しており、10月29日、「IoT先進技術等導入促進セミナー(実践編)」が当センターとの共催により行われた。

第3回目の開催となるこのセミナーでは、中小企業にお

けるIoT導入に多くの実績を有する「i Smart Technologies株式会社(愛知県)」より、増田春輝氏、岡田元輝氏を講師として招き、IoT導入に関心のある県内企業5社10名が参加した。

参加者は、IoTの基礎的知識を学びつつ、デモ機や模型を使用したワークショップを通して、IoTシステムが生産現場で果たす役割について、実践的に学んだ。

セミナーレポ

人には付加価値の高い仕事を!

これまでインターネットに接続されていなかった様々なモノ(建物、自動車、電子機器など)がネットワークを通じて、サーバーなどのデータベースに接続され、相互に情報交換をする仕組みである「IoT(Internet of Things)」。IoTの活用は、労務費の削減や生産性の向上、利益の拡大や新たなビジネスの創出など様々な面でその効果が期待されている。

IoT化による改善活動において、出来高率アップや設備投資額の削減など数々の実績を有する増田氏は「まずは“見える化”をすること。例えば現場では稼働率80~90%くらいと聞いていても実際は50%ということは良くある。単

純作業は自動化し、人が付加価値の高い仕事をすることで企業価値を生み出すことができる」と力説。さらに、「データを取ることが大切なのではなく“可視化”されたデータをもとに、現場も含めた社内全体で意見を出し合い、改善に繋げていくことが重要」と続けた。

さらに、岡田氏の指導によるワークショップでは、模型にセンサーを取り付けてデータ取得を自動化した場合と手作業でやった場合を実際に比較し、正確性や問題点の洗い出しを実施。参加者からは質問や意見も活発に飛び交い、4時間にわたる長丁場のセミナーも時間を感ぜさせないまま盛況のうちに終了した。

参加者の声

日本精機株式会社
営業技術部 電気計装グループ **根田 高行 さん**



当社は工作機械や精密機械関連の製作メーカーで、現在工場内のIoT化を進めるべく模索中です。今回のセミナーを通し、IoTはデータを扱うことがメインだと思っていましたが、そのデータを活用して社員のやる気に繋げていくことが重要だと気づきました。また、ワークショップでは様々な立場の方からの意見を取り入れることで、改善活動がダイレクトに進むことも実感できました。本日得た内容を社内にフィードバックし、現場とのコミュニケーションを取りながら、IoT化を進めていきたいと思っております。

